

日中関係を独自分析

三郷の吉沢さん評論

国民運動団体「日本 島の問題など、揺らぐ

会議」会員で著述家の
吉沢国雄さん(69) 日中関係の構造を独自の視点で分析し、これから日本がなすべきことを主張している。

このほど、評論『中国の心理が読めれば、对中国戦略は見えてくる』を著した。尖閣諸



吉沢国雄さん

「政治心理を追究することの重要性」「中国(人)の政治心理」「中国の心理から生まれる対日戦略」「日本のなすべき中国に対する気構えと戦略」の4章で構成する。第1章では、合理的打算、イ

デオロギー的価値観、情念、無意識と怨念の四つの要素を観点とし、中国の政治指導者の深層心理に迫っている。

吉沢さんは、まえがきで本書を著した理由に触れ「ただ日本という国の将来を案じ、微力ながら、日本国が直面しようとしている危機に警告を発したいのです」と述べている。東洋出版(東京都)刊。四六判、273頁。1575円(税込み)。問い合わせは各書店へ。

(中村弘明)

吉沢国雄

中国の心理が読めれば、
对中国戦略は見えてくる

中国の心理を読めずして、
中国を語ることなかれ!

世界の覇権国家をめざし、尖閣・沖縄奪取を狙う中国の実態を、中国の心理面から解明した
痛切な書。

中国との関係についての主
張が載る吉沢さんの評論